

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、区全域における緑と生物の現況を把握するとともに、過年度の調査結果を参考に
して推移を把握し、今後の緑化推進や環境保全政策の基礎資料を得ることを目的として行った。
本調査は次のような実施方針に基づいて実施した。

〈 実 施 方 針 〉

● 航空写真撮影による、緑被地の抽出と正確なデータ算出

緑被地を詳細に把握するため、デジタル航空カメラを用いて航空写真撮影を行い、
地上 10cm 解像度の画像をデジタル処理することにより、1 m²以上の緑被地を抽出し、
正確なデータを算出する。

● 緑と生物の関係に着目し、質の高い自然的空間を把握

生物が集中して生息するまとまりのある緑や水辺の経年変化について注目し、生物
調査を実施する。また、区内で実施されたこれまでの調査結果や確認情報も活用する。
さらに、緑と生物調査の結果から、「どのような生物が」、「どのような緑の環境を」、
「どのように利用しているのか」といった緑と生物の関係を把握する。

● 区民の参加による調査報告

緑と生物の分布は、区民にとって身近な自然的環境であり、区民の視点からみた緑
や生き物の情報も重要である。そこで、区民参加による生き物観察会及びエコライフ
講座等のイベントにおいて区民の意識調査を行い、その結果を報告書として整理す
る。

● 区民にわかりやすい緑と生き物情報の提供

報告書や概要版は、区民が親しみやすく内容を理解しやすいように、調査結果の図
表化、専門用語の解説、現地写真による説明を行う。

● 継続調査の手法を確立

緑と生物の変遷は、長期間にわたる継続的調査によって比較することが重要であ
る。そのため、今後も継続して緑と生物の変遷を把握できるように、調査手法の統一
や調査結果の記録に留意する。

2. 調査対象範囲

調査の対象範囲は、墨田区全域(13.75km²)である。

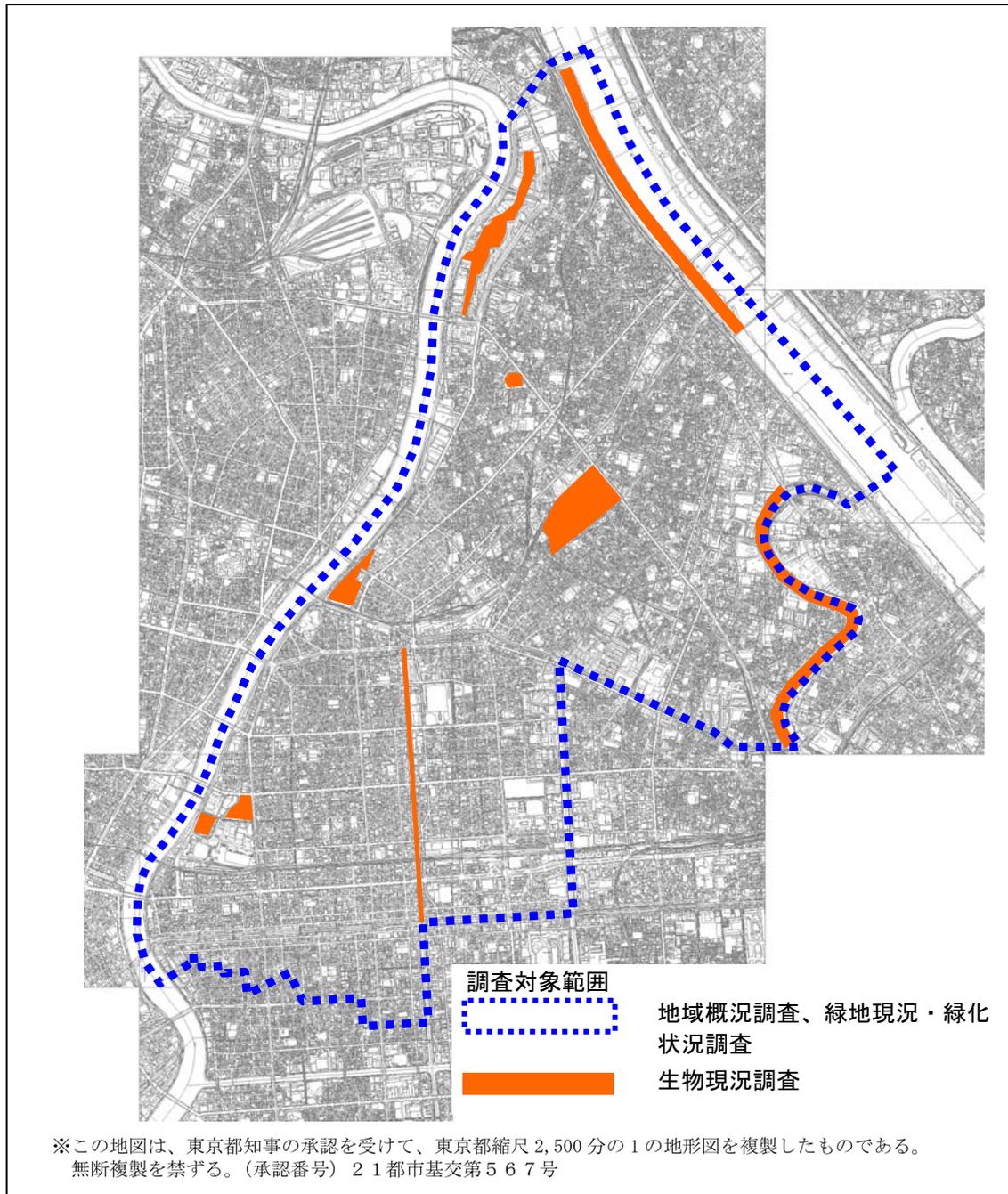


図 1.2-1 調査対象範囲

3. 調査期間

調査期間は、平成21年4月28日から平成22年3月31日までである。

4. 調査の流れ及び調査項目

4.1 調査の流れ

調査の流れは、図 1.4-1 に示すとおりである。

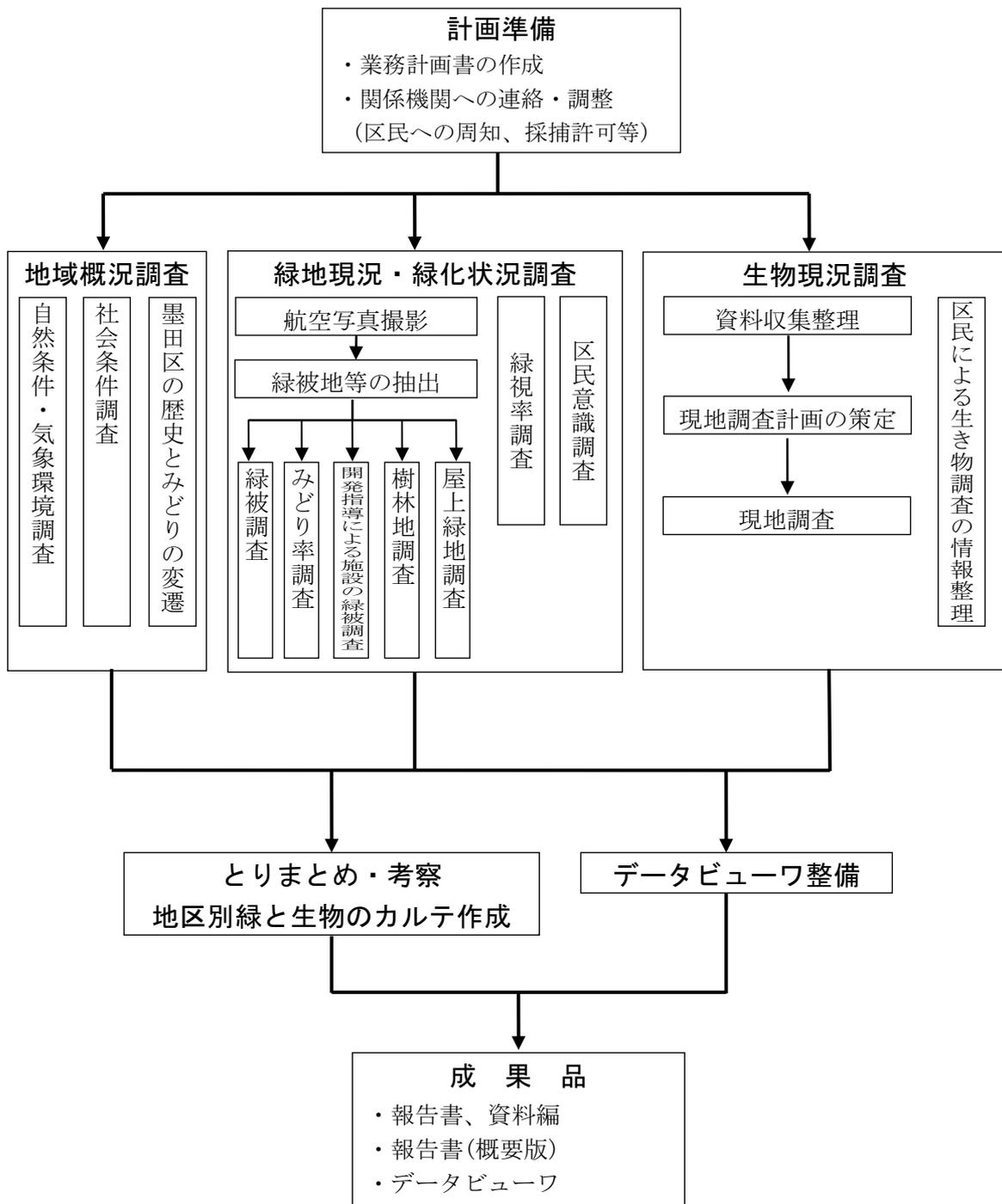


図 1.4-1 調査の流れ

4.2 調査項目

調査項目は、表 1.4-1 のとおりである。

表 1.4-1 調査項目

調査項目		概要		
地域概況調査	自然条件・気象環境調査	位置・面積、地形・地質、気象(降雨量・気温)、樹林等について既存資料より自然的条件を整理した。		
	社会的条件調査	人口、世帯数、土地利用、産業、交通、公害について既存資料より社会的条件を整理した。		
	その他	区の歴史と緑の変遷について過去の航空写真、公園緑地の整備状況について整理した。		
緑地現況・緑化状況調査		調査対象	調査方法	調査内容
	航空写真撮影・判読	1m ² 以上の緑被地	デジタル航空写真撮影、判読	緑被地等の判読
	緑被調査	1m ² 以上の樹木被覆地・草地・屋上緑地	航空写真判読、面積集計	緑被率、緑被地の分布、推移等
	みどり率調査	緑被地、公園(緑被地以外)、水面	航空写真判読、面積集計	みどり率、みどり地の分布、推移等
	開発指導による施設の緑被調査	過去10年間の開発指導要綱等に基づく指導対象施設	航空写真判読、面積集計	緑被地の推移、規模別分布等
	樹林地調査	樹冠投影面積300m ² 、樹高10m以上の樹木被覆地	航空写真判読	樹林の箇所
	屋上緑地調査	1m ² 以上の屋上緑地	航空写真判読、面積集計	建物ごとの面積、箇所数等
	緑視率調査	106地点の街路	写真撮影、写真判読	緑視率
区民意識調査	区民	アンケート	緑・生物に関する意識、要望等	
生物現況調査	資料収集整理	既存資料、区民情報	資料調査	資料整理
	現地調査	鳥類、昆虫類、魚類、水生生物、両生類・爬虫類・哺乳類、植物	現地調査	確認
	区民による生き物調査の情報整理	区民情報	エコライフ講座、生き物観察活動	生き物確認情報

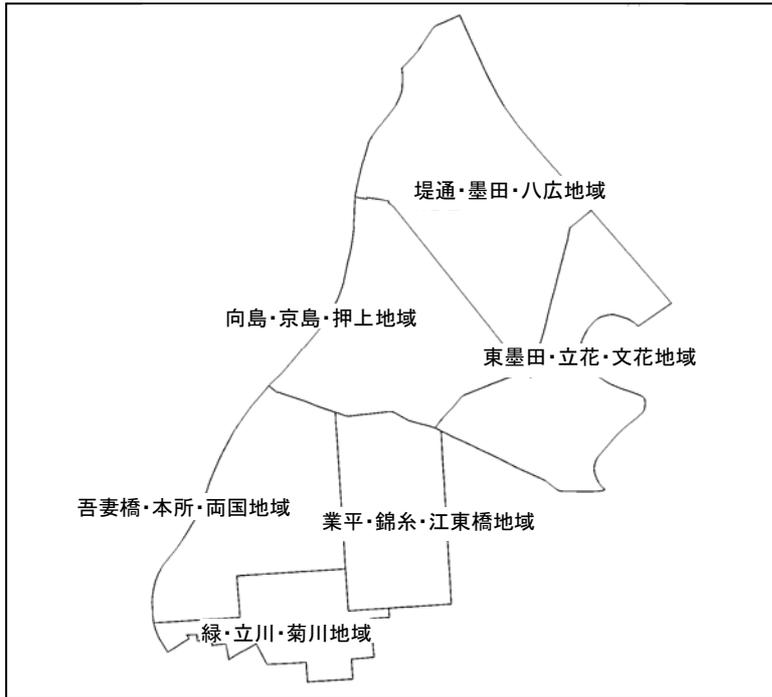
5. 集計単位

調査結果について、調査結果を効果的に理解できるように、項目によって、区全体、地域(6地域)、地区(26町)の単位を用いてまとめた。

また、東京都土地利用現況調査(平成18年度)のデータをもとに、土地利用別の単位を用いて公共系、商業系、住宅系、工業系、その他にまとめた。

表 1.5-1 地域の区分

地域名称		対象町丁の目安
北部地域	堤通・墨田・八広地域	堤通二丁目、墨田、八広、東向島四～六丁目
	向島・京島・押上地域	堤通一丁目、京島、向島、東向島一～三丁目、押上
	東墨田・立花・文花地域	東墨田、立花、文花
南部地域	吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋、東駒形、本所、石原、横網、亀沢、両国
	業平・錦糸・江東橋地域	業平、横川、太平、錦糸、江東橋一～四丁目
	緑・立川・菊川地域	菊川、立川、緑、千歳、江東橋五丁目



都市計画マスタープラン(平成 20 年 3 月)による地域別構想の区分

図 1.5-1 地域の区分

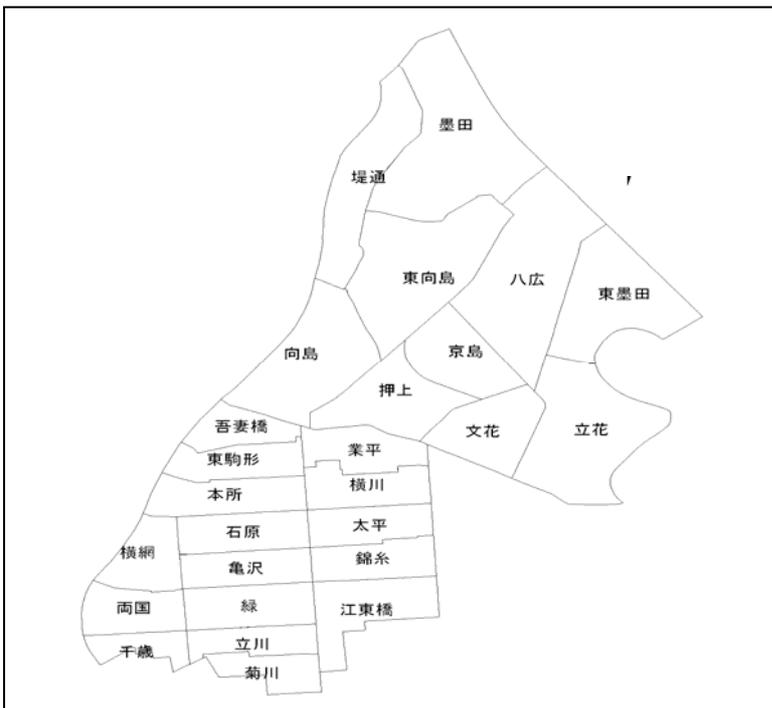


図 1.5-2 地区の区分

表 1.5-2 土地利用及び建物種類区分

土地利用・建物種類区分		該当する建物の種類
公共系	官公署	官公署及び出先機関、警察署及び派出所、消防署、郵便局等
	学校等	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専門学校等
	文化施設	博物館、図書館、公会堂、町内会館等
	社寺等	寺社、教会等
	厚生医療施設	病院、診療所、保健所、保育園、高齢者施設、障害者施設等
	供給処理施設	上水道施設、電力供給施設、下水道施設、都市ガス供給施設等
	公園等	公園緑地、運動場、野球場、遊園地等
	道路・鉄道	街路、歩行者用道路、団地内通路、鉄道等
	河川等	河川、運河、遊水池等
商業系	事務所	事務所、営業店舗等
	商業施設	専用商業施設、デパート、スーパーマーケット、飲食店等
	宿泊遊興施設	ホテル、旅館、バー、カラオケボックス、ゲームセンター等
	スポーツ・興行施設	体育館、競技場、劇場、演芸場、映画館等
住宅系	戸建住宅	専用户建住宅
	集合住宅	公団・公社・公営住宅、アパート、マンション等
	併用住宅	住宅を主とする塾、教室、作業所等の併用住宅
工業系	工場	工場、作業所等の専用工場
	倉庫等	倉庫、自動車車庫、資材置き場等
その他	上記以外	

(東京都土地利用現況調査(平成18年度)による)

6. 緑と生物調査の実施状況

これまでに墨田区で行われた緑と生物の調査の実施状況を図 1.6-1 に示す。

緑の現況調査は、昭和 48 年度に第 1 回調査が実施され、今回で 5 回目である。生物の現況調査は、平成 3 年度、平成 12 年度に続く調査である。

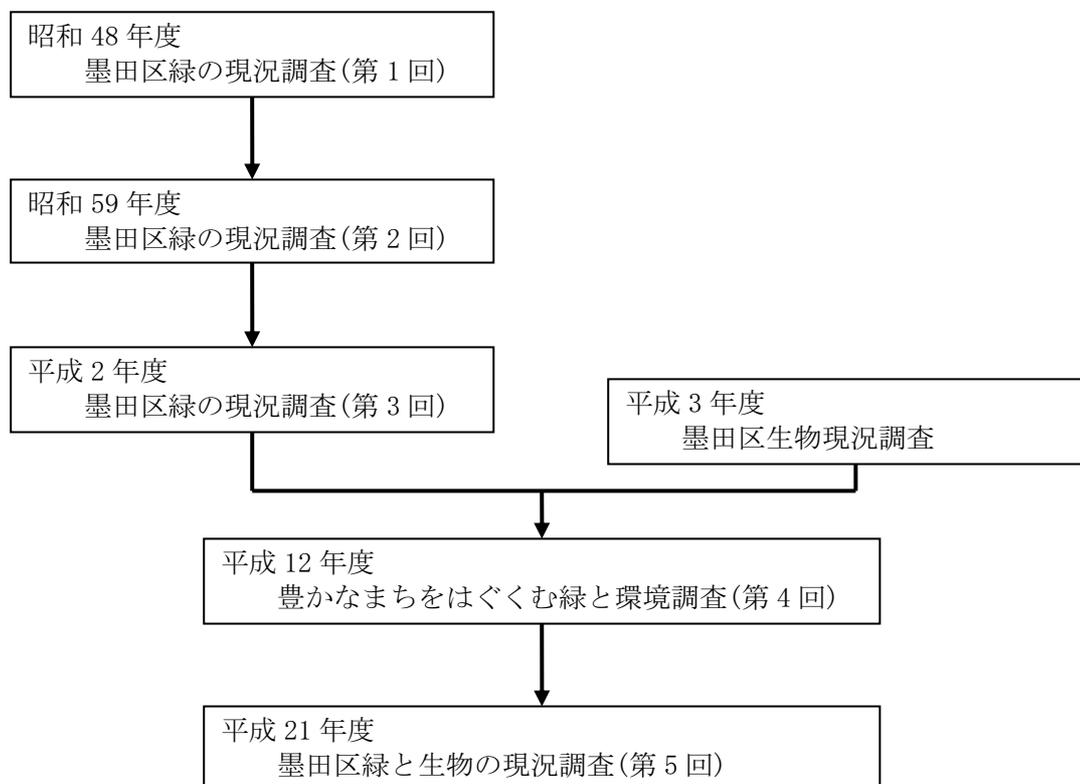


図 1.6-1 緑と生物調査の実施状況